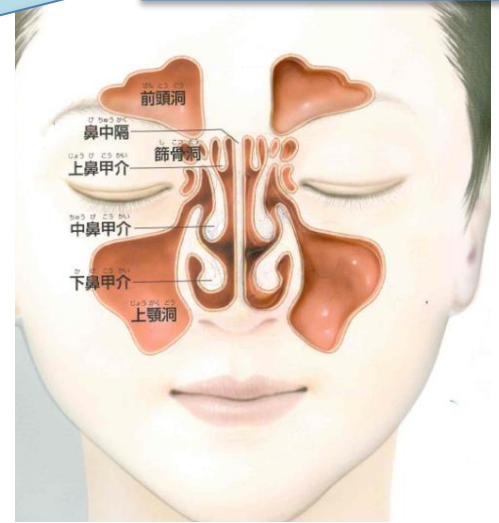


## 急性副鼻腔炎



## 原因と症状

- ・ 鼻や目の周りには骨に囲まれた空洞がいくつかあり、この空洞に細菌やウイルス感染が起こって膿が溜まるのが急性副鼻腔炎です。
- ・ 症状としては、頬、額や目の奥の痛み、膿まじりの汚い鼻水、鼻づまりや鼻水がのどに下がる後鼻漏などがあります。
- ・ その他に、鼻水が原因の痰や咳などもあり、全身的には頭痛、発熱、全身倦怠感なども見られます。

## 診断と治療

- ・ 診断は、鼻内を鼻鏡やファイバースコープなどで丹念に観察し、必要があればレントゲンやCTなどの画像検査によって行います。
- ・ 治療は原因菌に有効な抗菌薬や消炎鎮痛薬を投与します。
- ・ きちんと直し切らないと急性副鼻腔炎の後に慢性副鼻腔炎になることもあるので、耳鼻咽喉科で治るまでしっかりと適切な治療を受けてください。

## 家庭でできること

- ・ 痛みがある場合は、手持ちの痛み止めがあれば服用してください。
- ・ たとえ痛みが治まっても、翌日には耳鼻咽喉科を受診してください。

## 急患診療センターを受診するめやす

- ・ **痛み止めがなく症状が強い場合は急患診療センターを受診しましょう。**
- ・ ただし耳鼻科外来は日曜、祝日、GW、年末年始の昼間(9:00~18:00)のみですので、我慢できない場合は市民病院か大学病院に相談してください。